

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 府当局、退職手当の引下げ強行を表明 教職員の退職後の生活を脅かすな!

### 国以上の不当な引下げに 府労組連厳しく抗議

12月11日、府労組連(大阪府関連労働組合連合会)は、大阪府当局の退職手当引下げ提案に対する団体交渉を行い、提案を撤回するよう強く求めました。しかし、府当局は(国家公務員の退職手当法については国会で可決成立したところであり、提案した内容で「理解いただきたい」と述べ、引下げ強行を表明しました。

職員は「職員の賃金実態をまったく踏まえず、国に準ずる」という口実だけで退職金を一方的に引下げると、到底納得できません。府労組連は厳しく抗議し、改めて提案の撤回を求めました。

#### 知事は毎月の賃金に上乗せして前払い

公務員の退職手当は、国の見解では「勤続報奨的、生活保障的、賃金後払い的な性格をそれぞれ有している」基本的には職員が長期間継続勤務して退職する場合の勤務報奨としての要素が強いものとされています。法律や条例で支給条件等が決められており、労働基準法で規定される「賃金」としての性格があることは明らかです。

退職手当を廃止した松井知事による、退職手当復元の仕方は特に注目されます。知事は4年任期の特別職であるため、退職手当は「賃金」というよりも、勤続報奨的な性格が強いはずですが、しかし松井知事は、4年分の退職手当額を1か月相当に割り戻し、毎

月の給料に上乗せして受け取っています。まさに、退職手当を賃金として、後払いではなく前払いとして受け取っているのです。知事自身が退職手当の前払いを受けるなど、全国的にも例がありません。

その一方で私たちは、定年後の生活の糧となる、既に支払われているべき賃金が「後払い」であるがために引き下げられようとしています。公然とした「賃金泥棒」とも言わべき暴挙であり、断じて受け入れられません。



団体交渉で府当局に厳しく抗議

#### 実質的には国以上の引下げ

大阪府の職員・教職員は、20年前から続く賃金抑制や昇給延滞に加え、7年間にも及んだ賃金カットで400万円を超える損失を被ってきました。さらには、5年前の退職金400万円引下げ、3年前からの給料表2%引下げなど、府独自の賃金引下げにより、

生涯賃金が大幅に削られています。こうした実態を無視し、「国に準ずる」という理由だけで、今約80万円もの退職金が取り上げられようとしています。1年前の退職者と比べると、生涯賃金が約1千万円ひきざげられることになり、実質的には国に準ずるどころか、国以上の引下げです。

すでに、大阪府独自の公務員賃金引下げは、大阪から人が逃げる「事態を深刻化させ、大阪府の行政水準低下の要因ともなっています。また、府内企業の99%を占める中小企業など民間労働者の賃金を大きく引下げる悪影響も及ぼしており、大阪経済の活性化にも逆行しています。経済の立て直しのために、今求められているのは、すべての労働者の賃上げです。

大障教は引き続き大教組・府労組連に結集し、今回の退職手当引下げに抗議するとともに、すべての労働者の賃金底上げのたかひに全力を尽くします。

#### 【職場決議に寄せられた怒りの声】

人事委員会の給料アップの勧告は無視し続けるに、退職手当を下げるのはすぐなんですね。自分が退職する時のことを考えると、とても不安です。仕事に対するモチベーションが保てません。消費税は上がるのになぜ退職手当が下がるのか？収入減で消費は伸びないでしょう。人の人生をどう考えているんだ！退職手当削減で浮いたお金は何に使うのか？こんなことが続いたら、若い人は生活の見通しを持って、安心して教育活動に専念できない。長年働いてきた者に対し、いきなりの仕打ち。年金支給も先送りされる中、退職後の生活に大打撃。こんな不当な提案は許されません。

(裏面に続く)

大障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



米軍普天間基地所属のヘリの部品が、保育園に落下してわずか6日後、今度は小学校の校庭にヘリの窓が落下しました。窓は1m四方の窓枠ごと落下し、校庭にはアクリル製の破片が飛び散りました。事故当時、10mほど離れた場所では体育の授業が行われており、もし児童を直撃していたらと考えると、背筋が凍ります。

「世界一危険な飛行場」と言われる普天間基地は、人口9万人の宜野湾市の中央に位置しています。周囲には18の学校がありますが、オスプレイやヘリなどが市街地上空を旋回するように飛行を繰り返す、日常的に事故の危険にさらされています。

1996年、日米両政府は普天間基地の「返還」を「移設」条件付きで合意しました。その3年後に名護市辺野古が移設先として正式決定され、日本政府は辺野古新基地建设が完了しない限り、普天間返還はないとの立場をとっています。米軍の見積もりでは、新基地建设は早くても2030年。新基地「1」を訴える県民の声を踏みにじり、政府が「辺野古移設」に固執する限り、基地建设まで多くの市民が危険にさらされることになりま。

沖縄県は、事故後直ちに米軍司令官と米国総領事を県庁に呼んで抗議し、全米軍機の緊急総点検と、その間の飛行中止を求めました。しかし米軍は事故も県の抗議も全く意に介さず、小学校の真上を、オスプレイなどが爆音をどころかせながら、何度も飛行を繰り返しています。

今後、一度と学校の上空を飛ばないと確約されるまで、校庭を使用することはできない事故があった小学校の校長は、怒りを込めて語っています。

# 大阪の採用試験をクリアな試験にしていく 第25回臨時教職員問題を通して教育を考える秋のつどい

1月25日に京都で開催された「第25回臨時教職員問題を通して教育を考える秋のつどい」に参加してきました。午前中はオーピング企画の構成詩と歌で盛り上がりました。次に「みんなで学ぼう！臨時教職員問題」でトークセッションをした後、グループワークで想いを語り合いました。昼食企画では、おにぎりを片手にパーティーをしました。

午後からは3つの分科会に分かれました。私は講師の労働条件の分科会に参加しました。最初の話題は2020年の4月から始まる「会計年度任用職員」についてでした。この制度になると空白の一日問題をクリアできる側面もあるとの説明でした。文部科学省から出されるマニュアルや、これから研究される各都道府県教育委員会の動きもじっくり見て、臨時教職員の待遇が下がらないように注意して学んでいきたいと思えます。

「京都の臨時教職員はてなダイアリーズORN」で制度について楽しく学びました。その後、大阪の採用試験についての話題になり、1学期末の多忙時に筆記試験を行い、試験内容に一般教養が出されることや、平日に面接試験が実施されることを報告すると「大阪はおかしいなあ」という京都の参加者から声が上がりました。大阪の試験方式が他の自治体に広がらないようにしていきたいと思えます。京都では、試験結果の情報開示を求める運動が進み、結果の詳細を知ることができるようになってきました。資料も提供していただいたので、活用して大阪の採用試験をクリアな試験にしていきたいと感じました。

「大阪はおかしいなあ」という京都の参加者から声が上がりました。大阪の試験方式が他の自治体に広がらないようにしていきたいと思えます。京都では、試験結果の情報開示を求める運動が進み、結果の詳細を知ることができるようになってきました。資料も提供していただいたので、活用して大阪の採用試験をクリアな試験にしていきたいと感じました。

**【職場決議に寄せられた怒りの声】**  
(表面よりの続き)

年金も予想以上に低く、65才までも厳しい状況です。決して裕福な老後生活はできないと実感しているのに、最後にまた引き下げられるのは苦しいと感じます。

大阪府は教員採用試験を受ける人が減っていると聞きました。教員の質の維持、仕事の意欲を保つためにも賃金は大切です。若い先生からも反対の声があがっています。働く意欲や希望、生活を台無しにする引き下げはやめてください。

退職のゴールを目前にして、落とし穴を掘られていたようなものです。このような卑劣な行為を行政がやって「信用」をどう考えているのか、神経を疑います。

大切にすごそうと思っていた最後の3学期がタダ働きになるように思えて萎えてしまいそうです！！

年金が65才からの支給で定年退職後は退職金だけが頼りなのに、それが減らされたら死活問題です。

長い間楽しみにしていた退職旅行に行けなくなります。撤回してください！！

他府県に例を見ない大幅な賃金カット分を職員に返すのが先でしょう！

退職金がこれほど大きくカットされてとてもショックです。体力・気力の面からも再任は難しく、どのように生活していけばいいのかとても不安です。

退職まであと4か月という現時点での引き下げは、人道的にもどうかと思われまます。

我々の世代は年金支給が数年遅れ、今後の生活への不安を募らせたまま定年を迎えようとしている矢先、100万円近い退職金カットはあまりに酷い仕打ちだと思います。

給料も上がらず、ボーナスも減らされる中で、30数年間頑張って働いてきた私たちの退職後の生活を安心したものにしてください。


秋には身の振り方を決めて提出しなければならないということで、悩みに悩んで答えを出しました。それ以降で、このような退職手当カットが出されるのはおかしいです。憤慨！！

**第17回 全国障害児学級 & 学校 学習交流集会 in 奈良**  
日程：1月6日(土)～8日(月)

学習交流集会でうれしいのは、やはり色々な場所で開催されることではないでしょうか！？

日本全国各地であり、昨年度は1月に北海道でありました。参加にあたり、組合員は交通費などの補助もいただけるので、ぜひぜひ利用していただきたいと思えます。

他校の教員とも交流することができたり、学習はもちろんですが開催場所の美味しいものを食したり(北海道は滑りやすいので要注意ですね 苦笑)、きっと楽しく参加することができると思えます！



**植松大地**  
(東大阪支援 学校分会)

学ぶなら今こそつながろう  
光り輝く子どもたちの未来のために

(臨時教職員問題対策部：小島良平)